

論說要旨

ニ臣實の圧迫を難詰し人類幸福の新社會建設に
努力するものある 邦々は一も早やく組合を大いにし其力
を伸ぶべきである 予仲者も斯くの如く予仲者自身の力
ある等組合の必要を力説す

新時代の政治と道德 島中雄三

すべしこの物の觀念は時代時代の應じて變化するが觀念
はひとつの言葉等となつて現はれり 時と共に内容も變
化するも本質的の理應は永久に變化はしない 故に本主
義の時代には是れに相應の尤本質的觀念があるが
序の如く時代は是れに相應の尤 政治道德の觀

念がある 政治と云ふ言はば道德と云ふこと
は出来ないと道德は又政治を離れし考ふことは出来ない
政治とは自分が自分を治めるといふ精神が政治とい
ふは道德ともなる自立自治が社会的には政治と
なり個人的には道德となるものである 人間は生れると
時に 社会人となり又同時に個人としての社會を離れしは
人はない 人間としての自由は社會人としての自由の政治
の理想は其の自由共同の自治のあり知れぬもの
現在の政治は一人若しくは少数の階級が利益を
絞るものが政治といふは抑之つけしものがあるが專
断政治であるが資本主義の政治は自然に絞るもの
稀になつて居る 抑之絞るものは漸くなくなる